

報道関係者各位

2013年7月9日

東洋学園大学

本郷キャンパス：東京都文京区本郷 1-26-3

流山キャンパス：千葉県流山市鱈ヶ崎 1660

「英語で授業」の指導法を考える

研修会を開催

東洋学園大学が高等学校の英語教員を対象に、
教科科目を英語で指導するメソッド「CLIL」の研修会を実施

東洋学園大学（学校法人東洋学園 本部：文京区本郷 理事長：江澤雄一）では、2013年7月20日（土）、高等学校の英語教員を対象に、英語で授業を行うメソッド「CLIL（Content and Language Integrated Learning）」に関する研修会を行います。また、2014年度にスタートする東洋学園大学独自の教育プログラム「国際キャリアプログラム（ICP）」の説明会も同時開催します。

高等学校では平成25年度より英語の授業を英語で行うことが基本に

平成25年度より、文科省が発表した新学習指導要領が高等学校でも全面実施となりました。

新学習指導要領では、高等学校の英語に関する各科目について、「授業は英語で指導することを基本とする」ことが明記されています。これにより、高等学校の英語教員からの、英語で授業を行う方法論へのニーズが高まっています。そこで、東洋学園大学では、来年度よりスタートさせる「国際キャリアプログラム（ICP）」でも導入予定の、教科科目を英語で指導するメソッド「CLIL（Content and Language Integrated Learning）」についての研修会を開催し、時代に求められている国際社会を生き抜く人材育成について、高等学校及び大学の英語教育ができることは何か、参加者と東洋学園大学の教員とが互いに情報交換をしながら考える場を提供します。

英語で教科科目を教える「CLIL」メソッドの実施例を発表・ワークショップで意見交換も

「CLIL（Content and Language Integrated Learning）」とは、教科科目を英語で学び、語学と教科内容を同時に習得することを目的としたメソッドで、ヨーロッパを中心に普及しています。研修会では、小学校で実際にCLILを取り入れた外国語の指導を実践している東洋学園大学非常勤講師・山野有紀が事例をもとにCLILに関しての説明・質疑応答を行うほか、ネイティブ・スピーカー教員2名による、英語で授業を行う上で学生のやる気を引き出し授業の効率・効果を上げるために必要なマテリアルや、高等学校での実践の可能性について探るワークショップも開催します。

2014年スタートの「国際キャリアプログラム（ICP）」説明会も同時開催

ほとんどの科目にCLILを導入し英語で授業を行うほか、2年次後期から1年間の海外学部留学が必須となる東洋学園大学の新たな教育プログラム「国際キャリアプログラム（ICP）」についての説明会も同日に開催。カリキュラムや留学制度、協定校留学の学費を給付する奨学金制度、入試についてなど、ICPの特長について詳しく説明します。

当日のプログラムについて

■CLIL 研修会

■国際キャリアプログラム（ICP）説明会

■日時	2013年7月20日（土）14:00～17:30
■場所	東洋学園大学 本郷キャンパス1号館 東京都文京区本郷1-26-3 水道橋駅から徒歩7分、本郷三丁目駅から徒歩5分、後樂園駅から徒歩10分

■プログラムとタイムスケジュール（予定）

14:05～14:55	「What is “CLIL”？」 講師：東洋学園大学非常勤講師 山野有紀
15:10～16:10	ワークショップ「Designing Materials for CLIL」 講師：東洋学園大学准教授 Sarah Louisa Birchley 東洋学園大学准教授 Andrew Boon
16:10～16:30	「国際キャリアプログラム（ICP）とは？」 講師：東洋学園大学副学長 原田規俊子
16:40～17:30	参加者による情報交換会

■参加のお申込み

7/12（金）までに、【氏名（ふりがな）、高校名、住所、電話番号】を添えて
Eメール・電話・FAXでお申込みください。

<お申込み先> 東洋学園大学入試室

TEL : 0120-104-108 / FAX : 03-3811-1964 / E-mail : nyushi@of.tyg.jp

* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室 （担当：北川・大橋）

電話 03-3811-1783 FAX03-3811-5176 e-mail:koho@of.tyg.jp <http://www.tyg.jp>